

第23回写真「1_WALL」グランプリ受賞作。
僧侶の恋人との別れと、チベットの巡礼の旅を経て、
自己と他者をつなぐ回路が開かれていく。

木原千裕『不思議』

—「それでも、犀の角のようにただ独り歩み、対象それ自体と向き合うこの回路は
私と私以外にすべての繋がりがあるようになっていた」

このたびふげん社は、木原千裕『不思議』を刊行いたします。

木原千裕は、1985年福岡県出身の写真家で、2021年に第1回ふげん社写真賞グランプリを受賞し第一作目の写真集『いくつかある光の』を刊行しました。本書は、同じく2021年に第23回写真「1_WALL」でグランプリを受賞した作品を、4年の月日を経て編み直した、木原の2冊目の写真集です。

恋人の僧侶との関係を、彼女が所属する寺から性別、性的指向、宗教のしがらみを理由に拒絶された出来事は、木原に自身の生の根幹を揺らがすような深い傷と問いを残しました。信仰とは何か、宗教とは何か、という問いと葛藤を胸に、聖地チベット・カイラス山に巡礼の旅へ向かいます。

標高5000mという肉体的にも精神的にも極限に追い込まれた場所で、吹雪の中、五体投地をする信仰者とともに、歩みを止めずに独りひたすら前へと進む中で、その脳裏では過去の記憶が激しく流れ出していました。

カイラス山の険しい山肌、地元福岡の街、恋人の残像、京都や広島で出会った宗教行事とチベットの巡礼者たち、夕暮れに佇むあの日の自分。時間と場所を行き来しながら接続し合うイメージの奔流は、自己と他者のつながりと、自らが向き合う世界を肯定するようになっていました。

アイデンティティが壊れるような困難に遭いながらも、光を求めて歩み続ける中で紡がれた、個人の生と強く結びついた写真とテキストは、この世界のどこかで誰かといつの日か繋がり、新しい物語が立ち上がるでしょう。この世の不思議に満ちた、豊かな連環を感じさせる一冊です。

プロフィール：木原千裕 Chihiro Kihara 1985年福岡県生まれ。同志社大学社会学部教育文化学科卒業。2021年第1回ふげん社写真賞グランプリ、第23回写真「1_WALL」グランプリ受賞。2018年 塩竈フォトフェスティバル写真賞 特別賞受賞。写真集『いくつかある光の』(ふげん社、2022年)。

展覧会情報：木原千裕個展「不思議」エウレカ(福岡)2025年12月6日(土)～12月20日(土)



木原千裕『不思議』

2025年11月4日発行

著者	木原千裕
デザイン	尾中俊介(Calamari Inc.)
発行所	ふげん社
サイズ	A4変形
仕様	上製本
頁数	116頁
写真点数	74点
定価	6,600円(税込)
ISBN	978-4-908955-44-0



▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922 TEL: 03-6715-6121
mail: info@tsubamebook.com http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）	新刊 ふげん社 https://fugensha.jp https://www.shashin.tokyo/ 返品条件付注文扱い　返品了解　ツバメ出版流通：川人		
ご担当： 様	注文数	木原千裕『不思議』 ISBN 978-4-908955-44-0 C0072 定価: 6,600円 (本体6,000円+税10%)	